

意見書

2011年1月21日

総務省総合通信基盤局
電気通信事業部事業政策課 御中

郵便番号 163-8003

(ふりがな) とうきょうとしんじゅくにしんじゅくにちようめさんばんにごう
住 所 東京都新宿区西新宿二丁目3番2号

(ふりがな) かぶしきがいしゃ
氏 名 KDDI株式会社

だいひょうとりしまりやくしゃちょう たなか たかし
代表取締役社長 田中 孝司

連絡先

TEL :

FAX :

メールアドレス

「電気通信事業分野における競争状況の評価に関する実施細目2010（案）」に関し、別紙のとおり意見を提出します。

（文中では敬称を省略しております。）

項	段落	意見
-	-	<p>【意見】</p> <p>総論</p> <p>2010年12月に公表された「光の道」構想に関するとりまとめにおいて、「総合的な市場支配力に着目した規制の導入」についての検討や、将来「光の道」への進展が十分でないと判断された場合の更なる措置についての検討が行われることとなっています。</p> <p>こうした中で、電気通信市場の動向を透明性の高い手法で客観的に分析でき、PDCA実行のツールとしても非常に有用である「競争評価」の果たす役割はますます重要なものとなります。</p> <p>このため、競争評価2010の実施にあたっては、市場の実態、競争政策の有効性について慎重な議論と分析を行っていただき、「光の道」の実現に向けた有効な政策に資するよう評価結果を活かしていただきたいと考えます。加えて、包括的な検証の実施に向けても、競争評価の成果を蓄積し、利用していただきたいと考えます。</p>
1項	1-1 定点的評価	<p>【総務省案】</p> <p>定点的評価の対象は、2009年度に引き続き、①固定電話、②移動体通信、③インターネット接続及び④法人向けネットワークサービスの4領域とする。</p> <p>【意見】</p> <p>FTTH市場におけるNTT東・西のシェアは74.5%(2010年9月時点)と引き続き非常に高いシェアを維持している状況です。これについて、加入電話の顧客情報を利用できるという営業上優位な立場にあるNTT東・西の市場支配力が、固定電話市場からFTTH等の隣接市場へのレバレッジが行使された結果であると考えられることから、こうした観点から分析していただきたいと考えます。</p> <p>市場支配力の行使についてこれまでの評価結果では、「規制の存在等により、各市場とも市場支配力の行使が概ね抑止されているもの」とされています。しかしながら市場の実態を見ると、NTT西日本による接続情報漏洩問題(2010年2月に業務改善命令が発出)が発生するなど、規制やルールが十分に機能していない状況にあると言わざるを得ません。</p> <p>競争評価の結果が「光の道」等の政策に少なからず反映されるものなのであれば、市場支配力が存在している場合に規制・ルールが存在することのみをもって「行使されていない」と判断するのではなく、市場実態を踏まえて慎重かつ丁寧に分析していただき、問題があれば「行使され</p>

		<p>ている」とし、措置が必要であるとの評価を行っていただきたいと考えます。</p> <p><インターネット接続領域></p> <p>当時、J:COM、住友商事、KDDI によるアライアンスの検討に関する覚書を締結した段階でありながら、競争評価 2009 報告書に、「J:COMとKDDIの子会社であるJCNとの資本関係の構築を含め両社におけるケーブルテレビ事業の連携に関しての検討がされており、これらの動きによるケーブルインターネット市場への影響については、今後注視が必要。」との記述がされましたが、市場支配力を持たない事業者同士の業務提携の効果や影響が明らかになる前でこのような記述をすることは、今後のビジネス展開を萎縮させかねず、適切でないと考えます。</p>
1項	1-2 戦略的評価	<p>【総務省案】</p> <p>(中略)</p> <p>スマートフォン、タブレットPCといった新たな携帯端末が市場において注目され始めたことを踏まえ「携帯電話端末、スマートフォン、タブレットPCの需要代替性の調査」を取り上げることとする。</p> <p>【意見】</p> <p>新たなビジネスの動向について、客観的に状況を把握し、今後の分析に役立てることは競争評価においては一定の意義が在ると考えられます。</p> <p>現在は携帯事業者による垂直統合型モデルに加え、端末メーカー主導型のビジネスモデル、Wi-Fi ルーターの普及やSIMカードの差し替え等通信レイヤーのキャリア選択が可能となる等、多様なビジネスモデルが展開されています。こうした状況を踏まえ、特定のビジネスモデルのみに着目するのではなく、各モデルについて均衡のとれた分析結果となるよう分析していただきたいと考えます。</p> <p>ただし、市場の半分程度を占める通信レイヤーの支配的事業者が独占的に人気のある上位レイヤーのコンテンツを囲い込むことや、検索等のプラットフォームレイヤーが端末レイヤーと連携して通信レイヤーの競争を歪める等も考えられる為、上述に加えて、国内外のプレーヤーを問わず、プラットフォーム等の上位レイヤーや、端末レイヤー等の下位レイヤーが、単独または連携して通信レイヤーの競争に与える影響についても留意して分析していただきたいと考えます。</p>

<p>今後の競争評価実施に向けて</p>		<p>【意見】</p> <p>ボトルネック性の高いアクセス回線とコア網が一体となって網を構成しているNGNのような固定系サービス提供基盤が、複数のサービス市場と周辺レイヤーに広く影響を及ぼすことが考えられます。ボトルネック設備の光ファイバやそれと一体となっているNGNのような物理的な提供基盤が関わる個々のサービス市場を全体的に捉え、及ぼしている影響度合いを分析することが今後は益々必要になると考えます。</p> <p>このようなサービス提供基盤においては、他事業者にはできないワンストップのパッケージサービス等を提供し、各市場に影響を与える可能性が考えられます。シェアや市場集中度等の定量的な指標だけではなく、このような物理的なサービス提供基盤が市場に及ぼす影響も併せて分析していただきたいと考えます。</p>

